

女性が躍動する 建築会社

SUNSHOW GROUP (三承工業株式会社) / N.SUNSHOW(株) 代表 西岡徹人さん



外務省が実施している第2回「ジャパンSDGsアワード」の特別賞にSUNSHOW GROUPが選ばれた。建設業の中小企業では初、岐阜県内の企業でも初。この企業に何が起きているのか、代表の西岡さんに話を伺った。

第三者のことを考えた取り組み

西岡さんは、若干20歳の時、愛用のヘルメットと長靴だけを携えて建設土木業を起業した。「高校時代はラグビー部に所属していたため体力には自信がありました。人の倍働くので仕事をくださいと、岐阜市中をお願いして回りました」。西岡さんは、草刈り・下水道の手掘り・道路の基礎工事と、朝から晩まで現場で泥にまみれる毎日だった。そんな西岡さんの転機は32歳、(公社)岐阜青年会議所で青少年心身育成委員長を務めた時だ。それまでは、毎日の仕事に追われ自分のことだけしか考えてこなかった西岡さんが、仲間たちと「地域」や「誰か」のために活動するようになった。「就任当初はパソコンすらも使えませんでした。企画書を作ったり答弁をしたりと慣れないことばかりでしたが、先輩方に教えてもらいながらなんとか形にしていきました」

女性が働きたいと思える職場環境

西岡さんは、青年会議所で学んだ「第三者のための行動」を自社に取り入れ、スタッフや顧客のことを第一に考え始めた。会社設立初期から勤務している正村幸美さんは、西岡さんが変わったことを最初に感じ取った。「私は出産を機に退職を考えていました。というのも、それまでの社風では、有給すら取得困難な雰囲気だったので皆に迷惑



をかけてしまうとの思いがあったからです。すると、西岡社長から「職場に子供を連れて来てくれないか」とお願いされました。まだ、生後3か月ほどの我が子を連れて出勤すると、西岡社長が子供を抱っこしながらデスクワークを行ったんです。この日を境に、会社は変貌を遂げていった。

「社長が私たちの意見をちゃんと聞いてくれて、会社の利益より社会が必要とされる事を提案しろと、言ってくれるようになりました」正村さんは社長の言葉通り自分で考えて、女性社員、男性社員や協力業者の奥様方、これまで三承工業でマイホームを建てた奥様方に声をかけて「チーム夢子」を設立した。

「チーム夢子」では、定期的に集まって家事の動線や家族のコミュニケーションを大切にしたい間取りについて主婦の目線から意見交換を行い、出された意見を反映させたモデルハウスを建築した。

また、女性ならではの視点から社内課題解決を行い、働きやすい環境を提案したところ「三承工業はキッズスペースを併設し子どもと一緒に働ける」と、SNSや口コミで広がった。子供がいる女性社員には、男性社員から「子供が待っているから早く帰ってね」と、声をかけられるようになり、お互いを思いやれる職場環境に変わった。

外国人が安心できる家

昨年より三承工業は、ブラジル人等の外国人を対象に県



内各地で注文住宅を販売している。外国人は、言葉・借入れなどの問題から住宅取得が困難と言われている。さらに外国人が家を建てる場合には、日本人とは大きく異なると西岡さんは言う。

「文化や習慣によるところが大きいと思いますが、外国人にとってリビングとは、仲間や家族が集いパーティーをする場所のため、出入りがしやすいよう玄関に近い場所を好みます。また、母国から家族が訪問した時のためにゲストルームとして利用できるように個室を多く設置します。そして、多くの外国人は日本ほど立派なバスルームを必要としませんが、シャワー程度でよいので気軽に使えるように1階と2階に設置してほしいと言われます」。

西岡さんは外国人の要望に細かく対応するために、ブラジル人とフィリピン人のスタッフを雇った。安心して相談できると評判になり、県外在住の外国人からも相談があると言う。

目に見えない資産

西岡さんのこれらの取り組みが、「貧困をなくそう」「ジェンダー平等を実現しよう」「住み続けられるまちづくりを」といった項目で、外務省に認められ第2回「ジャパンSDGsアワード」を受賞できたのだ。そしてこの取り組みに比例するかのようには、SUNSHOW GROUPの売上高はこの数年間で、2.5倍に伸びている。

しかしSUNSHOW GROUPの本当の資産は、これまでの活動を通じた西岡さんの「人脈」や会社スタッフの「自主性」など数字に表れない所にある。

西岡さんは、間もなく青年会議所を卒業するため、経営に専念できる環境になる。数字に表れていない資産が、この先の会社の経営にどれほど影響力があるのか、SUNSHOW GROUPから目が離せない。

*SDGs: Sustainable Development Goalsの略でエスディー・ジーズと発音する。国連が掲げる持続可能な17の環境や開発に関する国際目標